

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）
研究報告書

ベーチェット病の症例対照研究に関する研究
研究協力者 稲葉 裕 順天堂大学医学部衛生学教授

研究要旨 近年ベーチェット病発症に関するウイルスや細菌感染の関与やストレス・寒冷曝露といった環境要因の症状増悪への影響が報告されており、発症や予後に関する臨床像にも変化が認められるという報告が見られる。発症や予後に関する臨床像の近年の変化を踏まえ、これらの仮説を疫学的に証明するために症例対照研究が必要と考え、ベーチェット病研究班班員の医師の協力の下、調査研究を進めている。

共同研究者

松葉 剛

順天堂大学医学部衛生学助手

黒沢美智子

順天堂大学医学部衛生学助手

中村晃一郎

福島医科大学医学部皮膚科助教授

西部明子

福島医科大学医学部皮膚科助手

川上佳夫

福島医科大学医学部皮膚科助手

金子史男

福島医科大学医学部皮膚科教授

A. 研究目的

ベーチェット病の病因は現在も不明であるが、発症に関わる因子として近年細菌感染、ウイルス感染などが注目されている。

ベーチェット病の発症に関わる因子に関して近年細菌感染やウイルス感染などを疑う報告が増えている。またストレスや寒冷曝露などの環境因子が発症や増悪に関与するという報告も見られる。発症や予後に関する臨床像の近年の変化を踏まえ、これらの仮説を疫学的に証明するために症例対照研究が必要と考え、ベーチェット病研究班班員の医師の協力の下調査研究を進めている。

B. 研究方法

症例は3年以内の新発症患者100名程度とする。依頼施設は福島医大、岡山

大、東大、横浜市大、慶大、北大、順天堂大とする。

対照は他疾患で受診した病院患者との1:2コントロールおよび健常者と1:1のコントロールとする。病院コントロールは依頼施設より抽出し、地域コミュニティのコントロールについては健診機関などに協力を問い合わせる。

C. 研究結果

各施設の進捗状況（平成16年12月21日現在）

平成16年1月の段階で一例も症例の調査結果が得られていないことから、調査手法を再検討することとなった。再検討の内容は、

1. 3年以内の新発症患者では目標の症例数に達するのが困難なことから5年以内にする。
2. 質問紙の分量が多すぎるので質問項目を絞って少なくする。
3. 採血について了解をとりにくいことから省略する。

以上の内容について、各施設担当者にご意見をうかがい、実行可能性について検討した。その結果、以下の方法で調査を行う旨同意が得られた。

1. 症例については数を増やすことを考慮し5年以内の新発症患者とする。
2. 質問紙についてはストレスを評価するSTAIの部分が多いので、これを省略することとする。

3. 採血については省略する。
4. 病院コントロールは抽出せずコミュニティのコントロールのみにする。
5. 平成16年10月末日までにインタビュー可能な症例に対する質問紙のみの調査とする。

10月末日までに1施設（6症例）より報告を得られたが、分析を行う上で十分な数を得られていないという判断から現在分析を保留している。

反省および今後の展望

当初の予測に反し、研究の実行と継続が困難な状況にある。研究の実行可能性を下げる要因については以下のものが考えられる。

1. 倫理審査の困難性または非適時性：
施設により審査に用い書類等が違い、施設間で共有できないことや、倫理審査に時間がかかることがあげられる。
2. 調査担当者の作業過重
倫理審査の書類作成や過去のカルテの検索、忙しい外来での時間を割いてのインタビューなどが問題となった。特に視力障害のある症例に対する調査に対して困難との意見があった。
3. 調査担当者のモラルの低下
1、2の結果、調査担当者にモラルの低下を生み出している。

E. 結論

このような点を考慮し、今後の研究の伸展のために研究組織を改めることを考えた。いままでは臨床班の各施設の担当者の意見や要望を、臨床班の代表がまとめる形にしていたのだが、このことが疫学担当者との間でコミュニケーション不足を生じる結果となった。このことをふまえて数名の代表（皮膚科、眼科、内科を含む）からなる担当者会議を設立し、質問紙の設計を含む調査方法についてより適切な同意の上で研究を進めていくように考えている。

- F. 健康危険情報
特記すべきことなし。
- G. 研究発表（平成16年度）
 1. 論文発表
英語論文
なし
日本語論文
なし
 2. 学会発表
なし
- H. 知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）
 1. 特許取得
なし
 2. 実用新案登録
なし
 3. その他
なし

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）

分担研究報告書

パーチェット病患者の口腔関連QOLに関する研究

研究協力者 内藤 真理子 名古屋大学大学院医学系研究科

研究協力者 鈴嶋 よしみ 京都大学大学院医学研究科

研究協力者 福原 俊一 京都大学大学院医学研究科

研究要旨

平成16年10月より、パーチェット病患者の口腔関連QOLに関する全国調査を開始した。まず一地区において口腔内診査を加えたサブスタディを実施した。そして、パーチェット病友の会および北海道パーチェット病友の会の会員約1400名を対象に、郵送の質問票調査をおこなった。質問票には、General Oral Health Assessment Index (GOHAI)やSF-8などのQOL項目や過去1年間の口腔内症状の出現に関する項目を含めた。

中間解析で、喪失歯数と、包括的QOLや疾患特異的なOL尺度で測定したスコアと負の関連性が見られた。同年12月時点で調査実施中であり、本年度内にデータ解析を完了する予定である。

A. 研究目的

口腔内アフタ性潰瘍はパーチェット病の主要症状のひとつであり、90～100%と最も高い発生頻度を示すとともに初発症状であることも多い。他の症状は治療により発生頻度が減少し、出現しなくなる場合もあるが、口腔内症状は頻度が減っても出現が続く傾向が認められる。

再発性の口腔内症状によって引き起こされる摂食・発音等の口腔関連の機能障害が日常生活の質に与える影響は決して無視できないものと推察される。また、症状による疼痛や不快感が口腔清掃をはじめとする保健行動に影響を及ぼしている可能性も指摘されており、不十分な口腔管理がもたらす歯周病の罹患や歯の喪失が高年・老年期のQOL低下につながることも示唆されている。

このような背景から、パーチェット病に限らず口腔内症状を持つ全身疾患患者において口腔関連QOLを検討することは重要と考えられる

が、この課題に関する報告は国内外共にいまだ認められていない。また、本邦では口腔分野のQOL研究は緒についたばかりであり、尺度開発もまだ十分に進んでいない状況である。

そこでパーチェット病患者を対象とした口腔関連QOL調査を計画し、平成14年度より準備を進めてきた。そして、今年度はサブスタディを含めた横断調査を実施した。

B. 研究方法

平成16年11月より、パーチェット病友の会および北海道パーチェット病友の会の会員を対象に、郵送による質問票調査を開始した。質問票は無記名とし、パーチェット病友の会事務局（北海道、東京本部、大阪支部）を通じて発送作業をおこなった。大阪については、後述のサブスタディへの参加者を除いた支部会員全員に質問票を郵送した。

質問票の内容は、過去1年間の口腔内アフタ

症状、QOL関連項目（口腔関連QOL：GOHAI、健康関連QOL：SF-8、精神的健康度：GHQ-12）、その他の口腔関連項目（口腔衛生習慣、アフタ症状以外の口腔内症状、残存歯数など）、パーチェット病の罹患状況などとした。

郵送調査に先立ち、同年10月にサブスタディを実施した。具体的には、大阪支部会員を対象に歯科医師による口腔内診査ならびに質問票調査をおこなった。調査対象者は、書面で研究協力の同意の得られたパーチェット病患者とした。得られた口腔内診査および質問票データは、すべて共通番号で処理をおこなった。口腔内の診査項目は、齲蝕及び歯周組織の状態、歯式とした。質問票は診査会場内で配布し、対象者に記入していただき、回収をおこなった。

なお本研究は、特定非営利活動法人健康医療評価研究機構の倫理審査委員会において承認を受けた。

C. 研究結果

パーチェット病友の会および北海道パーチェット病友の会を合わせて1356名の会員に質問票を発送した。平成16年12月現在も調査実施中であり、サブスタディの対象者32名を含めた回収数は854（回収率61.5%）となっている。

郵送調査の前に実施されたサブスタディにおいては、23歳から76歳までの32名（男性19名、女性13名：平均年齢49.5±16.0歳）が対象となった。そのうち11名に1歯以上の齲蝕歯を認め、その割合は全体の34.4%であった。

CPITN(Community Periodontal Index for Treatment Needs)による歯周組織の評価では、コード0 [健全]2名(6.3%)、コード2 [歯石沈着あるいは4mm未満の歯周ポケットあり]18名(56.3%)、コード3 [歯周ポケット4mm以上6mm未満の歯あり]11名(34.4%)、コード4 [歯

周ポケット6mm以上の歯あり]1名(3.1%)であった。検診時に口腔内にアフタを認めた者の割合は、全体の28%であった。

QOL関連項目の検討では、より喪失歯が多い群において、SF-8の精神的サマリースコア(SF-8-MCS)およびGOHAIスコアが減少する傾向が認められた(表1,2)。

GOHAIスコアとSF-8スコアの検討では、GOHAIスコアとSF-8-MCSにおけるPearsonの相関係数は0.57(p=0.001)、SF-8の身体的サマリースコア(SF-8-PCS)における相関係数は0.40(p=0.03)であった。

D. 考察

今回のサブスタディは対象者が限られているため、結果を一般化することはできないものの、喪失歯数の増加は精神面や口腔に関連したQOLに影響を与える可能性が示唆された。また、口腔関連QOLスコアとSF8-MCSに正の相関が認められたことより、口の困りごとと精神面のQOLの間に関連性があることも推察された。

さらに、20歳代の4名中3名に齲蝕歯が認められ、20-30歳代の12名中10名がCPIのコード2以上であったことから、若年者への口腔保健啓発の必要性が示唆された。その一方、高年者においては、全般に口腔保健への意識が高く、口腔ケアも行き届いている傾向が認められた。

サブスタディは友の会支部総会の参加者を対象としたことから、健康意識の高い集団を評価している可能性も否定できない。実態把握のためには、より一層の検討が必要といえよう。現在回収中の質問票データについては、解析終了後に詳細な報告をおこなう予定である。

E. 結論

平成16年10月より、パーチェット病患者の

口腔関連 QOL に関する全国調査を開始した。サブスタディの口腔内診査では、口腔保健に対する啓発の必要性が示唆された。また、中間解析で、喪失歯数と、包括的 QOL や疾患特異的な QOL 尺度で測定したスコアと負の関連性が見られた。

自記式質問票を回収終了後、データ解析と結果の解釈を行い、詳細な報告をおこなう予定である。

F. 健康危険情報
なし

G. 研究発表

1) 論文発表

1. Naito M, Nakayama T, Fukuhara S.

Quality of life assessment and reporting in randomized controlled trials: a study of literature published from Japan. *Health Qual Life Outcomes*. 2004;2:31.

2. Takahashi N, Kikuchi S, Konno S, Morita S, Suzukamo Y, Green J, Fukuhara S.

Discrepancy between disability and the severity of low-back pain: demographic, psychological, and employment-related predictors. *Spine*, 2004 (in press)

3. Mapes DL, Bragg-Gresham JL, Bommer J, Fukuhara S, McKevitt P, Wikstrom B, Lopes AA. Health-related quality of life in the Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study (DOOPS). *American Journal of Kidney Diseases*, 44(5):54-60, 2004

4. Chin K, Fukuhara S, Takahashi K, Sumi K, Nakamura T, Matsumoto H, Niimi A, Hattori N, Mishima M, Nakamura T: Response shift in perception of sleepiness

in obstructive sleep apnea-hypopnea syndrome before and after treatment with Nasal CPAP. *Sleep*, 27(3):490-493, 2004

5. Lopes A, Leavey S, McCullough K, Gillespie B, Bommer J, Canaud B, Saito A, Fukuhara S, Held P, Port F, Young E. Screening for depression in hemodialysis patients: Associations with diagnosis, treatment and outcomes in the DOPPS".

Kidney International. 2004 (in press)

6. Sato E, Suzukamo Y, Miyashita M, Kazuma K. Development of a Diabetes Diet-Related Quality-of-Life Scale. *Diabetes Care*. 27(6):1271-5. 2004

7. Alonso J, Ferrer M, Gandek B, Ware JE, Aaronson NK, Mosconi P, Rasmussen NK, Bullinger M, Fukuhara S, *et.al.* and the IQOLA Project Group. Health-related quality of life associated with chronic conditions in eight countries: Results from the International Quality of Life Assessment (IQOLA) Project. *Quality of Life Research*, 13(2): 283-298, 2004

8. Ohbu S, Igarashi H, Okayasu H, Sakai F, Green J, Heller RF, Fukuhara S, Patrick DL. Development and testing of the Japanese version of the migraine-specific quality of life instrument. *Quality of Life Research*, 13(8) : 1489-1493, 2004

9. Fukuhara S, Nishimura M, Nordyke RJ, Zaher CA, Peabody JW : Patterns of Care for Chronic Obstructive Pulmonary Disease by Japanese Physicians. *Respirology*, 10(3): 2004 (in press)

10. Yamazaki S, Fukuhara S, Suzukamo Y. Household income is strongly associated with HRQOL among Japanese men but not

women. *Public Health*. 2004. (in press)

11. Yamazaki S, Sokejima S, Mizoue T, Eboshida A, Fukuhara S. Health-related quality of life of mothers of children with leukemia in Japan. *Qual Life Res* 2004. (in press)
12. Yamazaki S, Sokejima S, Nitta H, Nakayama T, Fukuhara S. Living Close to Automobile Traffic and Quality of Life in Japan: A Population-Based Survey. *Int J Environ Health Res* 2004.(in press)
13. 内藤真理子, 鈴木よしみ, 中山健夫, 福原俊一. 口腔関連QOL尺度開発に関する予備的検討 - General Oral Health Assessment Index (GOHAI) 日本語版の作成 -. 日本口腔衛生学会誌 2004;54:110-4.

2) 学会発表

1. Naito M, Suzukamo Y, Nakayama T, Fukuhara S. Linguistic adaptation and validation of the General Oral Assessment Index (GOHAI) into Japanese. *Qual Life Res* 2004;13:1530. (The 11th Annual Conference of the International Society for Quality of Life Research, Hong Kong, October 16-19, 2004.)

H. 知的財産権の出願・登録状況
なし

表1. 喪失歯数とSF-8 スコア(MCS)

喪失歯数	人数	SF-8スコア(MCS)
0	10	49.2±7.7
1-9	19	45.7±8.0
10≤	3	41.2±8.8
計	32	46.4±8.1

表2. 喪失歯数とGOHAIスコア

喪失歯数	人数	GOHAIスコア
0	10	48.7±8.7
1-9	19	46.9±8.6
10≤	3	45.7±15.0
計	32	47.3±9.0

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
川上佳夫、金子史男	ステロイドとマキサカルシトールの混合外用に切り替え後、皮疹が改善した1例	中川秀己、水谷 仁、小澤明	実地医家のための尋常性乾癬治療症例集 活性型ビタミンD3外用薬/マキサカルシトール	医薬ジャーナル社	大阪	2004	40-41
金子史男	リウマチ性疾患、類縁疾患 Behcet病	岩月啓氏、宮地良樹	カラーアトラス、皮膚診断の技法 皮膚を診ると全身が見える	診断と治療社	東京	2004	270-273
金子史男	皮膚の免疫学と病態生理	西川武二、瀧川雅浩、富田靖、監修 荒田次郎	標準皮膚科学、第7版	医学書院	東京	2004	24-49
金子史男	Behcet's syndrome		最新皮膚科学大系、特別巻2、皮膚科症候群	中山書店	東京	2004	43-44
秋葉 均、金子史男	Majocchi's granuloma		最新皮膚科学大系、特別巻2、皮膚科症候群	中山書店	東京	2004	215-216
CEM Griffiths, CM Clark, RJG Chalmers, A Li Wan Po, HC Williams 日本語監修 金子史男、近藤慈夫	重症乾癬治療の系統的レビュー			診療新社		2004	
金子史男	皮膚障に対するケア	福地総逸、小平廣子	訪問看護実践マニュアル 問題点とその対応	医薬ジャーナル社	東京	2004	189-201
岩淵和也、小野江和則	第6項 脾臓	森脇和郎、山村研一、米川博通	モデル動物の作成と維持	エル・アイ・シー	東京	2004	
小野江和則	免疫反応と免疫異常	菊地浩吉	病態病理学	南山堂	東京	2004	243-259
小野江和則	免疫寛容	藤堂 省	肝臓移植の実際	日本医京			印刷中
磯貝恵美子	腎盂腎炎		獣医内科学				印刷中
Sakane T, Suzuki N	Neuro-endocrine-immune axis in human rheumatoid arthritis			Autoimmunity Kluwer Academic Publishers	Wroclaw, Poland		in press
川島秀俊	59.急性出血性結膜炎	竹田美文、木村哲	感染症	朝倉書店	東京	2004	280-281
川島秀俊	60.流行性角結膜炎	竹田美文、木村哲	感染症	朝倉書店	東京	2004	356-358
川島秀俊	複視		BRAIN	日本脳神経財団	東京	2004	77:6-7
Mizuki N, Inoko H, Ohno S	Recent advance in the pathogenesis of Behcet's disease	Bang D	Proceedings of the 9th International Conference on Behcet's Disease				in press
Mizuki N, Inoko H	Behcet's Syndrome	Bridges S.L. and Ball G.V.	Immunogenetics. Vasculitis Textbook	Oxford University Press	Oxford		in press
岩月啓氏	帯状疱疹	山口 徹、北原光夫	今日の治療指針 2004 年版	医学書院	東京	2004	827-828
岩月啓氏	皮膚T細胞リンパ腫	平井久丸、押味和夫、坂田洋一	血液の事典	朝倉書店	東京	2004	205-207
岩月啓氏	第19章 膿疱症	飯塚 一、大塚藤男、宮地良樹	New 皮膚科学改訂第2版	南江堂	東京	2004	203-209
秋山尚範、大野貴司、岩月啓氏	細菌性疾患に関する検査	原田敬之	実践外来診療に必要な皮膚科検査法ハンドブック	全日本病院出版会	東京	2004	182-189
岩月啓氏、荒田次郎	細菌性皮膚疾患	荒田次郎	標準皮膚科学第7版	医学書院	東京	2004	365-391
森茂郎、金兼弘和、岩月啓氏、押味和夫	14. その他のEBV関連T/NKリンパ増殖性疾患	菊池昌弘、森茂郎	最新・悪性リンパ腫アトラス	文光堂	東京	2004	276-280
松浦浩徳、岩月啓氏	組織脆弱性、アミロイド沈着など	岩月啓氏、宮地良樹	皮膚診断の技法—皮膚をみると全身が見える	診断と治療社	東京	2004	24-25
松浦浩徳、岩月啓氏	膿疱性乾癬	岩月啓氏、宮地良樹	Dermatology Practice vol.16 乾癬にせまる	文光堂	東京	2004	186-191

松浦浩徳, 岩月啓氏	尋常性乾癬と膠原病 (エリテマトーデス) の合併	岩月啓氏, 宮 地良樹	Dermatology Practice vol.16 乾癬にせまる	文光堂	東京	2004	186-191
中村晃一郎	角層下膿疱症	飯塚 一, 宮 地良樹, 瀧川 雅浩	Dermatology Practice vol.16 乾癬にせまる	文光堂	東京	2004	207-209
中村晃一郎	20 皮膚疾患: 扁平苔癬	山口 徹, 北 原光夫	2004 今日の治療指針	医学書院	東京	2004	821
中村晃一郎	第 42 章 CCR10(CCL27/LC/CTA Cκおよび CCL28/MEC)		サイトカイン・ケモカインの すべて	日本医学館	東京	2004	452-458
中村晃一郎	Bare lymphocyte 症候群		最新皮膚科学大系、特別巻 2、皮膚科症候群	中山書店	東京	2004	28-29
中村晃一郎	アトピー性皮膚炎		皮膚免疫ハンドブック	中外医学社			印刷中

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kawakami Y, Oyama N, Kishimoto K, Yamazaki K, Nishibu A, Nakamura K, Hoshi S, Kaneko F	A case of generalized pustular psoriasis associated with Turner syndrome	J Dermatol	31(1)	16-20	2004
Furukawa H, Nakamura K, Zheng X, Tojo M, Oyama N, Akiba H, Nishibu A, Kaneko F, et al.	Enhanced TARC production by dust-mite allergens and its modulation by immunosuppressive drugs in PBMCs from patients with atopic dermatitis	J Dermatol Sci	35(1)	35-42	2004
Akiba H, Satoh M, Iwatsuki K, Kaiserlian, Nicolas JF, Kaneko F	CPG immunostimulatory sequences enhance contact hypersensitivity responses in mice	J Invest Dermatol	123	488-493	2004
Wang H, Nakamura K, Inoue T, Yanagihori H, Kawakami Y, Hashimoto S, Oyama N, Kaneko E, et al.	Mannose-binding lectin polymorphisms in patients with Behcet's disease	J Dermatol Sci	36(2)	115-117	2004
Furukawa H, Miura T, Takahashi M, Nakamura K, Kaneko E, et al.	A case of anti-p200 pemphigoid with autoantibodies against both a novel 200-kDa dermal antigen and the 290-kDa EBA antigen	Dermatology	209(2)	145-148	2004
金子史男, 尾山徳孝	乾癬 病態と治療の現況	臨床と薬物治療 (エル ゼビア・ジャパン)	23(2)	108-111	2004
尾山徳孝, 金子史男	天疱瘡 特集・自己免疫疾患のすべて	臨床看護	5 (6)	883-889	2004
金子史男	Behcet病 手許に置きたい診断基準とその解説	皮膚臨床	46(10)	1416-1423	2004
Kase S, Ikeda H, Harada T, Harada C, Imaki J, Ohgami K, Shiratori K, Nakayama K I, Nakayama K, Ohno S, et al.	Disappearance of p27(KIP1) and increase in proliferation of the lens cells after extraction of most of the fiber cells of the lens	Cur Eye Res			in press
Ohno S, et al.	Efficacy, safety, and pharmacokinetics of multiple administration of infliximab in Behcet's disease with refractory uveoretinitis	J Rheumatol	31	1362-1368	2004
Ilieva B.I, Ohgami K, Shiratori K, Koyama Y, Yoshida K, Kitamei H, Takemoto Y, Yazawa K, Ohno S	The effects of Ginkgo Biloba Extract on Lipopolysaccharide-induced inflammation in vitro and in vivo	Exp Eye Res	79	181-187	2004
Yoshida K, Kase S, Nakayama K, Nagahama H, Harada T, Ikeda H, Harada C, Imaki J, Ohgami K, Shiratori K, Iliyana B I, Ohno S, et al.	Involvement of p27KIP1 in the Proliferation of the Developing Corneal Endothelium	Invest Ophthalmol Vis Sci	45	2163-2167	2004
Yoshida K, Kase S, Nakayama K, Nagahama H, Harada T, Ikeda H, Harada C, Imaki J, Ohgami K, Shiratori K, Ohno S, Nakayama KI	Distribution of p27(KIP1), cyclin D1, and proliferating cell nuclear antigen after retinal detachment	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol	242	437-441	2004
Yoshida K, Nakayama K, Kase S, Nagahama H, Harada T, Ikeda H, Harada C, Imaki J, Ohgami K, Shiratori K, Ohno S, Nishi S, Nakayama KI	Involvement of p27(KIP1) in proliferation of the retinal pigment epithelium and ciliary body	Anat Embryol	(BerlMar 9)		2004
Shiratori K, Ohgami K, Ilieva IB, Koyama Y, Yoshida K, Ohno S	Inhibition of endotoxin-induced uveitis and potentiation of cyclooxygenase-2 protein expression by alpha-melanocyte-stimulating hormone	Invest Ophthalmol Vis Sci	45	159-164	2004
Kase S, Aoki K, Harada T, Harada C, Ohgami K, Shiratori K, Nishi S, Ohno S, Yoshida K	Activation of nuclear factor-kappa B in the conjunctiva with the epithelial scraping of the mouse cornea and human epidemic keratoconjunctivitis	Br J Ophthalmol	88	947-949	2004

Ariga T, Shinmada Y, Ohgami K, Tagawa Y, Ishiko H, Aoki K, <u>Ohno S</u>	New genome type of adenovirus serotype 4 caused nosocomial infections associated with epidemic conjunctivitis in Japan	J Clin Microbiol	42	3644-3648	2004
Kaneko H, Mori S, Suzuki O, Iida T, Shigeta S, Abe M, <u>Ohno S</u> , Aoki K, Suzutani T	The cotton rat model for adenovirus ocular infection: antiviral activity of cidofovir	Antivir Res	61	63-66	2004
Shimada Y, Ariga T, Tagawa Y, Aoki K, <u>Ohno S</u> , Ishiko H	Molecular diagnosis of human Adenoviruses D and E by a phylogeny-based classification method using a partial hexon sequence	J Clin Microbiol	42	1577-1584	2004
Miyata S, Itoh Y, Mizuki N, Ohgami K, Shiratori K, Iliyana B I, <u>Ohno S</u> , Andrew W T	Anti-inflammatory effects of alpha-melanocyte-stimulating hormone against rat endotoxin-induced uveitis and the time course of inflammatory agents in aqueous humor	Int Immunopharmacol	4	1059-1066	2004
Yamada H, Shimada S, Kato E, Morikawa M, Iwabuchi K, Kishi R, <u>Onoé K</u> and Minakami H	Decrease in a specific killer cell immunoglobulin-like receptor on peripheral natural killer cells in women with recurrent spontaneous abortion of unexplained etiology	Am. J. Reprod. Immunol	51	241-247	2004
Shimada S, Kato E H, Morikawa M, Iwabuchi K, Nishida R, Kishi R, <u>Onoé K</u> , Minakami H and Yamada H	No difference in natural killer or natural killer T-cell population, but aberrant T-helper cell population in the endometrium of women with repeated miscarriage	Hum. Reprod	19	1018-1024	2004
Nagashima T, Aranami T, Iclozan C and <u>Onoé K</u>	Analysis of T cell responses to a superantigen, staphylococcal enterotoxin B	J. Clin. Exp. Hematopathol	44	25-32	2004
<u>Onoé K</u> , Iwabuchi K and Good R A	T cell differentiation in allogeneic bone marrow chimeras. Cancer Detection and Prevention	Symposium Vol		S-153-154	2004
Takagi D, Iwabuchi K, Iwabuchi C, Nakamaru Y, Maguchi S, Ohwatari R, Furuta Y, Fukuda S, Joyce S and <u>Onoé K</u>	Immunoregulatory defects of V α 24 ⁺ V β 11 ⁺ NKT cells in development of Wegener's granulomatosis and relapsing polychondritis	Clin. Exp. Immunol	136	591-600	2004
Aranami T, Iclozan C, Iwabuchi K, and <u>Onoé K</u>	IL-7 dependent homeostasis proliferation in the presence of a large number of T cells in <i>gld</i> mice	Microbiol. Immunol	48	477-484	2004
Nakai Y, Iwabuchi K, Fujii S, Ishimori N, Watano K, Mishima T, Iwabuchi C, Tanaka S, Dashtsoodol N, Nakayama T, Taniguchi M, Miyake S, Yamamura T, Kitabatake A, Joyce S, Van Kaer L, and <u>Onoé K</u>	Natural killer T cells accelerate atherogenesis in mice	Blood	104	2051-2059	2004
Diao H, Kon S, Iwabuchi K, Kimura C, Morimoto J, Ito D, Segawa T, Maeda M, Hamuro J, Nakayama T, Taniguchi M, Yagita H, Van Kaer L, <u>Onoé K</u> , et al.	Osteopontin as a mediator of NKT cell function in T cell mediated liver diseases	Immunity	21	539-550	2004
Kobayashi-Sakamoto M, <u>Isogai E</u> , Hirose K, Chiba I	NF-kappaB dependent induction of osteoprotegerin by <i>Porphyromonas gingivalis</i> in endothelial cells	BBRC	315	107-112	2004
<u>Isogai E</u> , Hirata M, Isogai H, Matuo K, Watarai S, Miura H, Oguma K	Antimicrobial and lipopolysaccharide-binding activities of C-terminal domain of human CAP18 peptides to Genus <i>Leptospira</i>	J Appl Res	4(1)	180-185	2004
Okumura K, Itoh A, <u>Isogai E</u> , Hirose K, Hosokawa Y, Abiko Y, Hirata M, Isogai H	C-terminal domain of human CAP18 antimicrobial peptide induces apoptosis in oral squamous cell carcinoma SAS-H1 cells	Cancer letter	212(2)	185-194	2004
Kawahara M, Rikihisa Y, <u>Isogai E</u> , Takahashi M, Misumi H, Suto C, Shibata S, Zhang C, Tsuji M	Ultrastructure and phylogenetic analysis of 'candidatus neoehrlichia mikuraensis' in the family <i>Anaplasmataceae</i> isolated from wild rats and found in <i>Ixodes ovatus</i> ticks	Int J Syst Evol Microbiol	54(5)	1837-1843	2004
Takaya A, Suzuki A, Kikuchi Y, Eguchi M, <u>Isogai E</u> , Tomoyasu T, Yamamoto T	Derepression of <i>Salmonella</i> pathogenicity island 1 genes within macrophages leads to rapid apoptosis via caspase-1- and caspase-3-dependent pathways	Cellular Microbiol			in press
Kurauchi T, Yokota K, Matuo T, Fujinami Y, <u>Isogai E</u> , et al.	Neutrophil and lymphocyte responses to oral Streptococcus in Adamantiades-Bechet's disease	FEMS Immunol Med Microbiol			in press
Takaya A, Kubota Y, <u>Isogai E</u> , Yamamoto T	Degradation of the HilC and HilD regulator proteins by ATP-dependent Lon protease leads to down-regulation of <i>Salmonella</i> pathogenicity island 1 gene expression	Cellular Microbiology			in press
磯貝恵美子、磯貝 浩	ライム病	畜産の研究特集号「人獣共通感染症」	58(1)	139-144	2004
磯貝恵美子、磯貝 浩	ライム病	モダンメディア			印刷中
磯貝恵美子	電磁波の生体作用と健康への被害	北海道医療大学情報センター年報	2	3-14	2004
菊池 統、村井弘之、池添浩二、川尻真知、大八木保政、磯貝恵美子、吉良潤一	<i>Borrelia afzelii</i> 感染にともなう好酸球性筋膜炎の一例	臨床神経学	44 (4-5)	299-302	2004
Farjadian S, Naruse T, Kawata H, Ghaderi A, Bahram S, <u>Inoko H</u>	Molecular analysis of HLA allele frequencies and haplotypes in Baloch of Iran compared with related populations of Pakistan	Tissue Antigens	64	577-581	2004

Rompftruk AV, Romftruk A, Choonhakam C, Puapairoj C, Inoko H, Leelayuwat C	Major histocompatibility complex class I chain-related gene A in Thai psoriasis patients: MICA association as a part of human leukocyte antigen-B-Cw haplotypes	Tissue Antigens	63	547-554	2004
Matsuzaka Y, Okamoto K, Yoshikawa Y, Takaki A, Oka A, Mabuchi T, Iizuka M, Ozawa A, Tamiya G, Kulski JK, Inoko H	hRDH-E2 gene polymorphisms, variable transcriptional start sites, and psoriasis	Mamm Genome	15	668-675	2004
Niizeki H, Matsunaga T, Iwata T, Shimizu T, Kurimoto I, Naruse T, Inoko H, et al.	The MICA5.1 allele is not associated with susceptibility to effects of ultraviolet-B radiation on induction of contact hypersensitivity	J Dermatol Sci	35	221-223	2004
Kulski JK, Anzai T, Shiina T, Inoko H	Rhesus Macaque Class I Dupliron Structures, Organization and Evolution within the Alpha Block of the Major Histocompatibility Complex	Mol Biol Evol	11	2079-2091	2004
Ohtsuka M, Kikuchi N, Yokoi H, Kinoshita M, Wakamatsu Y, Ozato K, Takeda H, Inoko H, Kimura M	Possible roles of zic1 and zic4, identified within the medaka Double anal fin (Da) locus, in dorsoventral patterning of the trunk-tail region (related to phenotypes of the Da mutant)	Mech Dev	121	873-882	2004
Shimizu S, Shiina T, Hosomichi K, Takahashi S, Koyama T, Onodera T, Kulski JK, Inoko H	MHC class IIB gene sequences and expression in quails (Coturnix japonica) selected for high and low antibody responses	Immunogenetics	56	280-191	2004
Ohtsuka M, Kikuchi N, Ozato K, Inoko H, Kimura M	Comparative analysis of a 229 kb medaka genomic region, containing that zic1 and zic4 genes, with Fugu, and mouse	Genomics	83	1063-1071	2004
Ohtsuka M, Horiuchi, Kulski JK, Kimura M, Inoko H	CHOP: Visualization of 'wobbling' and isolation of highly conserved regions from aligned DNA sequences	Nucleic Acids Research	32	W53-W58	2004
Mano S, Yasuda N, Katoh T, Tounai K, Inoko H, et al.	Notes on the maximum likelihood estimation of haplotype frequencies	Annals of Human Genetics	68	257-264	2004
Shiina T, Shimizu S, Hosomichi K, Kohara S, Watanebe S, Hanzawa K, Beck S, Kulski JK, Inoko H	Comparative genome analysis of two avian (Quail and Chicken) MHC regions	J Immunol	172	6751-6763	2004
Inaizumi T, Takeshi Itoh, Yukiko Suzuki, Claire O'Donovan, Satoshi Fukuchi Kanako O, Koyanagi, Roberto A. Barrero, Takuro Tamura, Yasu Yamaguchi-Kabata, Motohiko Tamoto, Kit Yura, Satoru Miyazaki, Kazuo Ban, Koishi Homma, Anik Kapreyk, Tassuo Nishitawa, Mika Hirakawa, Jon Thierry-Mieg, Daniela Thierry-Mieg, Jennifer Ashman, Libia Jia, Mituhiro Nakao, Michael A. Thomas, Nicola Mulder, Youla Karavidopoulou, Lihua Jin Sangsoo Kim, Tomohiro Yasuda, Boris Leshari, Eric Evens, Yoshiyuki Suzuki, Chisato Yamazaki, Junichi Takata, Craig O'neagh Phillip Hines, Yasuyuki Fujii, Hiroaki Sakai, Susumu Tanaka Clara Asad, Matthew Bellgard, Maria de Fatima Bonaldo, Hidemasa Bono, Susan K. Bromberg, Anthony J. Brookes, Elspeth Bruford, Piero Caracciolo, Claude Chakla, Christine Conziliani, Suresh J. de Souza, Maria-Anne Debby, Marie-Dominique Devignes, Iana Dubchak Yoshinari Endo, Anne Estrachar, Eduardo Eyras, Keoru Fukami-Kobayashi, Copel R. Gopinath, Esther Gramada, Yoonsoo Hahn, Michael Han, Ze-Qiang Han, Kousuke Harada, Hirotaki Harada, Etsuro Harada, Tatsuyuki Hashimoto, Ursula Haug, Morteza Hara-Teruyoshi Hishiki, Ian Hopkinson, Sandrine Imbomad, Hidetoshi Inoko, et al.	Integrative Annotation of 21,037 Human Genes Validated by Full-Length cDNA Clones	PLoS Biology	2	1-20	2004
Hurt P, Walter L, Sudbrak R, Klages S, Müller I, Shiina T, Inoko H, et al.	The genomic sequence and comparative analysis of the rat major histocompatibility complex.	Genome Research	4	631-639	2004
Ohtsuka M, Kikuchi N, Nogami M, Inoko H, et al.	Rapid screening of a novel arrayed medaka (Oryzias latipes) cosmid library	Mar Biotechnol (NY)	4	173-178	2004
Koishi S, Yamazaki K, Yamamoto K, Koishi S, Enseki Y, Nakamura Y, Oya A, Yasueda M, Asakura A, Aoki Y, Atsumi M, Inomata J, Inoko H, Matsumoto	Notch4 gene polymorphisms are not associated with autism in Japanese population	Am J Med Genet	125B	61-62	2004
Li S, Kawata H, Katsuyama Y, Ota M, Morishima Y, Mano S, Kulski JK, Naruse T, Inoko H	Association of polymorphic MHC microsatellites with GVHD, survival, and leukemia relapse in unrelated hematopoietic stem cell transplant donor/recipient pairs matched at five HLA loci	Tissue Antigens	63	362-368	2004
Hui J, Oka A, Tomizawa M, Tay GK, Kulski JK, Penhale WJ, Isachi SPA, Tamiya G, Inoko H	Identification of two new C4 alleles by DNA sequencing and evidence for a historical recombination of serologically defined C4A and C4B alleles	Tissue Antigen	63	263-269	2004
Shigenari A, Ando A, Renard C, Chardon P, Shiina T, Kulski JK, Yasue H, Inoko H	Nucleotide sequencing analysis of the swine 433-kb genomic segment located between the non-classical and classical SLA class I gene clusters	Immunogenetics	55	695-705	2004
Kuwana M, Matsuura E, Kobayashi K, Okazaki Y, Kaburaki K, Ikeda Y, Kawakami Y	Binding of β_2 -glycoprotein I to anionic phospholipids facilitates processing and presentation of a cryptic epitope that activates pathogenic autoreactive T cells	Blood			in press
Kuwana M, Okazaki Y, Satoh T, Asahi A, Kajihara M, Ikeda Y	Initial laboratory findings useful for predicting the diagnosis of idiopathic thrombocytopenic purpura in adults: a prospective study	Am J Med			in press
Satoh T, Kimura K, Okano Y, Hirakata M, Kawakami Y, Kuwana M	Lack of circulating autoantibodies to bone morphogenetic protein receptor-II or activin receptor-like kinase 1 in mixed connective tissue disease patients with pulmonary arterial hypertension	Rheumatology			in press
Ioannidis JPA, Vlachoyiannopoulos PG, Haidich AB, Medsger TA Jr, Lucas M, Michet CJ, Kuwana M, et al.	Mortality in systemic sclerosis: an international meta-analysis of individual patient data	Am J Med			in press

<u>Kuwana M, Ikeda Y</u>	The role of autoreactive T cells in the pathogenesis of ITP	Int J Hematol			in press
<u>Yasuoka H, Okazaki Y, Kawakami Y, Hirakata M, Inoko H, Ikeda Y, Kuwana M</u>	Autoreactive CD8 ⁺ cytotoxic T lymphocytes to major histocompatibility complex class I chain-related molecule A in patients with Behçet's disease	Arthritis Rheum	50(11)	3658-3662	2004
<u>Kuwana M</u>	β_2 -glycoprotein I: antiphospholipid syndrome and T-cell reactivity	Thromb. Res	114(5-6)	347-355	2004
<u>Kuwana M, et al.</u>	Defective vasculogenesis in systemic sclerosis	Lancet	364(9434)	603-610	2004
<u>Kobayashi H, Hosono O, Iwata S, Kawasaki H, Kuwana M, et al.</u>	The tetraspanin CD9 is preferentially expressed on the human CD4 ⁺ CD45RA ⁺ naive T cell population and is involved in T cell activation	Clin Exp Immunol	137(1)	101-108	2004
<u>Satoh T, Pandey JP, Okazaki Y, Yasuoka H, Kawakami Y, Ikeda Y, Kuwana M</u>	Single nucleotide polymorphisms of the inflammatory cytokine genes in adults with chronic immune thrombocytopenic purpura	Br J Haematol	124(6)	796-801	2004
<u>Kuwana M, Nomura S, Fujimura K, Nagasawa T, Muto Y, Kurata Y, Tanaka S, Ikeda Y</u>	The effect of a single injection of humanized anti-CD154 monoclonal antibody on the platelet-specific autoimmune response in patients with immune thrombocytopenic purpura.	Blood	103(4)	1229-1236	2004
<u>Kurokawa SM, Suzuki N</u>	Behcet's Disease	Clin Exp Med	3	10-20	2004
<u>Nagaya M, Kubota K, Suzuki N, Tadokoro, Akashi K</u>	Evaluation of thermoreversible gelation polymer(TGP) for regeneration of focal liver injury	European Surgical Research	36(2)	95-103	2004
<u>Chiba S, Ikeda R, Kurokawa MS, Yoshikawa H, Takeno M, Nagafuchi H, Tadokoro M, Sekino H, Hashimoto T, Suzuki N</u>	Anatomical and functional recovery by embryonic stem (ES) cell-derived neural tissue of a mouse model of brain damage	J Neurological Science	129	107-117	2004
<u>Nagafuchi H, Yoshikawa H, Takeba Y, Nara K, Miura K, Kurokawa SM, Suzuki N</u>	Recombination activating genes(RAG)induce secondary Ig gene rearrangement in and subsequent apoptosis of human peripheral blood circulating B lymphocytes	Clin Exp Immunol	136(1)	76-84	2004
<u>Kurokawa SM, Yoshikawa H, Suzuki N</u>	Behcet's Disease	Seminars in Respiratory and Critical Care Medicine	25(5)	557-568	2004
<u>Takeno M, Yoshikawa H, Kurokawa SM, Kashiwakura J, Sakaguchi M, Yasuda H, Suzuki N</u>	Th1-dominant shift of T cell cytokine production, and subsequent reduction of serum Immunoglobulin E response by administration <i>in vivo</i> of plasmid expressing Txx/Rlk, member Tec family tyrosine kinase	Clin Exp Allergy	34(6)	965-970	2004
<u>Ikeda R, Kurokawa SM, Chiba S, Yoshikawa H, Hashimoto T, Tadokoro M, Suzuki N</u>	Transplantation of motoneurons derived from MASH1 transfected mouse ES cells reconstitutes neural networks and improves motor function in hemiplegic mice	Exp Neurol	189(2)	280-292	2004
<u>Homma R, Yoshikawa H, Takeno M, Kurokawa MS, Masuda C, Takda E, Tsubota K, Ueno S, Suzuki N</u>	Induction of epithelial progenitor <i>in vitro</i> from mouse embryonic stem (ES) cells and the application for reconstruction of damaged cornea in mice	Investigative Ophthalmology & Visual Science	45	4320-4326	2004
<u>Hamada M, Yoshikawa H, Kurokawa SM, Chiaba S, Masuda C, Takda E, Watanabe K, Sakakibara M, Akashi K, Aoki H, Suzuki N</u>	Transplantation of neural progenitors derived from embryonic stem cells bring about functional and electrophysiological recoveries of mice with spinal cord injury	Inflammation and Regeneration			in press
<u>Chiba S, Kurokawa SM, Yoshikawa H, Ikeda R, Takda E, Masuda C, Takeno M, Tadokoro M, Sekino H, Hashimoto T, Suzuki N</u>	Noggin and basic FGF were implicated in forebrain fate and caudal fate, respectively, of the neural tube-like structures emerging in mouse ES cell culture	Experimental Brain Research			in press
<u>Yoshikawa H, Nara K, Suzuki N</u>	Neuro-endocrine-immune interactions in the pathogenesis of rheumatoid arthritis. Recent Research Developments in Immunology	Research Signpost, Kerala, India			in press
<u>Nagafuchi H, Takeno M, Yoshikawa H, Kurokawa SM, Nara K, Takda E, Masuda C, Mizoguchi M, Suzuki N</u>	Excessive expression of Txx, a member of Tec family tyrosine kinases, contributes to excessive Th1 cytokine production by HSP reactive T lymphocytes in patients with Behcet's disease	Clin Exp Immunol			in press
<u>Imamura Y, Kurokawa SM, Yoshikawa H, Nara K, Tsukikawa S, zaki S, Masuda C, Suzuki N</u>	Involvement of Th1 cell and heat shock protein 60 in pathogenesis of intestinal Behcet's Disease	Clin Exp Immunol			in press
<u>鈴木登, 金子栄</u>	I.全身性エリテマトーデス	「病因」インフォームドコンセントのための図説シリーズ 膠原病		pp.14-23	2004
<u>Takeshi Shinohara, Takeshi Kaneko, Yoji Nagashima, Atsuhisa Ueda, Akihiro Tagawa, and Yoshiaki Ishigatsubo</u>	Adenovirus-mediated transfer and overexpression of heme oxygenase 1 cDNA in lungs attenuates elastase-induced pulmonary emphysema in mice	Hum. Gene Ther			in press
<u>Akihiro Tagawa, Takeshi Kaneko, and Yoshiaki Ishigatsubo</u>	Cigarette-smoke increases mucosal permeability in guinea pig trachea via tachykinin NK2 receptor activation	Eur.J. Pharmacol			in press

Maki Takabayashi, Heiwa Kanamori, Hirotaka Takasaki, Satoshi Yamaji, Hideyuki Koharazawa, Jun Taguchi, Naoto Tomita, Katsumichi Fujimaki, Shin Fujisawa, Atsuo Maruta, and Yoshiaki Ishigatsubo	A possible association between the presence of interleukin-4-secreting cells and a reduction in the risk of acute graft-vs-host disease	Exp. Hematol				in press
Tsukiji J, Sango K, Uda N, Kageyama H, Ito T, Saito H, Horie H, Inoue S, Kitamura H, Hagiwara E, Ikeda H, Okubo T, Ishigatsubo Y	Long-term induction of beta-CGRP mRNA in rat lungs by allergic inflammation	Life Sci	26;76(2)	163-177	2004	
Takeda Y, Takeno M, Iwasaki M, Kobayashi H, Kirino Y, Ueda A, Nagahama K, Aoki I, Ishigatsubo Y	Chemical induction of HO-1 suppresses lupus nephritis by reducing local iNOS expression and synthesis of anti-dsDNA antibody	Clin Exp Immunol	138(2)	237-244	2004	
Tomita N, Kanamori H, Fujimaki K, Fujisawa S, Ishigatsubo Y	Epstein-Barr virus-associated extranodal NK/T-cell lymphoma following mosquito bites in an elderly patient without prior hypersensitivity	Leuk Lymphoma	45(10)	2153-2155	2004	
Kanamori H, Takasaki H, Takabayashi M, Yamaji S, Koharazawa H, Fujimaki K, Taguchi J, Ishigatsubo Y	Long-term cytogenetic remission with ubenimex monotherapy in a case of chronic myeloid leukemia	Anticancer Drugs	15(7)	729-731	2004	
Yamaji S, Suzuki A, Kanamori H, Mishima W, Yoshimi R, Takasaki H, Takabayashi M, Fujimaki K, Fujisawa S, Ohno S, Ishigatsubo Y	Affixin interacts with alpha-actinin and mediates integrin signaling for reorganization of F-actin induced by initial cell-substrate interaction	J Cell Biol	24;165(4)	539-551	2004	
Takeno M, Ishigatsubo Y	Behcet's disease and inflammatory bowel disease	Intern Med	43(3)	172-173	2004	
Fujimaki K, Taguchi J, Fujita H, Hattori M, Yamazaki E, Takahashi N, Fujisawa S, Kanamori H, Maruta A, Ishigatsubo Y	Thiotepa/cyclophosphamide/TBI as a conditioning regimen for allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in patients with myelodysplastic syndrome	Bone Marrow Transplant	33(8)	789-792	2004	
Takabayashi M, Sakai R, Sakamoto H, Kakinuma M, Iemoto Y, Kanamori H, Ishigatsubo Y	Cutaneous mucormycosis during induction chemotherapy for acute lymphocytic leukemia	Leuk Lymphoma	45(1)	199-200	2004	
Tsuburai T, Kaneko T, Nagashima Y, Ueda A, Tagawa A, Shinohara T, Ishigatsubo Y	Pseudomonas aeruginosa-induced neutrophilic lung inflammation is attenuated by adenovirus-mediated transfer of the heme oxygenase 1 cDNA in mice	Hum Gene Ther	15(3)	273-285	2004	
Mishima W, Suzuki A, Yamaji S, Yoshimi R, Ueda A, Kaneko T, Tanaka J, Miwa Y, Ohno S, Ishigatsubo Y	The first CH domain of affixin activates Cdc42 and Rac1 through alphaPIX, a Cdc42/Rac1-specific guanine nucleotide exchanging factor	Genes Cells	9(3)	193-204	2004	
Atsushi Yoshida, Hidetoshi Kawashima, et al.	The statistical comparison of patients with Behcet's disease between the 1980's and the 1990's	Ophthalmology	111	810-815	2004	
Kazuhide Akiyama, Jiro Numaga, Fumie Kagaya, Yutaka Takazawa, Shigenobu Suzuki, Nobuyuki Koseki, Satoshi Kato, Toshikatsu Kaburaki, and Hidetoshi Kawashima	A case of Optic Nerve Involvement in Metastasis of Gastrointestinal Stromal Tumor	Jpn J Ophthalmol	48	166-168	2004	
Ohno S, Nakamura S, Hori S, Shimakawa M, Kawashima H, et al.	Efficacy, safety, and pharmacokinetics of multiple administration of infliximab in Behcet's disease with refractory uveoretinitis	J Rheumatol	31	1362-1368	2004	
Dale S Gregerson and H Kawashima	APC derived from donor splenocytes support retinal autoimmune disease in allogeneic recipients	J Leukocyte Biology	76	383-387	2004	
蕪城俊克, 川島秀俊	ぶどう膜炎併発緑内障における手術の適応・術式の選択・術後処置	あたらしい眼科	21	13-19	2004	
川島秀俊	赤ちゃんの病気&ホームケア事典. 第9章. 体の部位の異常-目	ひよこクラブ6月号		179-182	2004	
川島秀俊	免疫抑制薬	眼薬理	18	44-46	2004	
Yanagihori H, Tojo M, Inoue T, Nakamura K, Nishida T, Mizuki N, Kaneko F	Lack of association of interleukin-12 p40 gene (IL12B) polymorphism with Behcet's disease in the Japanese population	J Dermatol Sci	34(2)	112-114	2004	
Nishida T, Miyata S, Itoh Y, Mizuki N, Ohgami K, Shiratori K, Ilieva IB, Ohno S, Taylor AW	Anti-inflammatory effects of alpha-melanocyte-stimulating hormone against rat endotoxin-induced uveitis and the time course of inflammatory agents in aqueous humor	International Immunopharmacology	4(8)	1059-1066	2004	
Mizuki N, et al.	Flumoxed sodium and levofloxacin concentrations in aqueous humor	Ocular Immunol Inflamm				in press
Yamaki K, Takiyama N, Itho N, Mizuki N, et al.	Experimentally induced Vogt-Koyanagi-Harada disease in two Akita dogs	Exp Eye Res				in press

Tomomi Kurauchi, Kenji Yokota, Toshihiko Matsuo, Yoshihito Fujinami, Emiko Isogai, Hiroshi Isogai, Hiroshi Ohtsuki and Keiji Oguma	Neutrophil and lymphocyte responses to oral <i>Streptococcus</i> in Adamantiades-Behçet's disease	FEMS Immunol Med. Microbiol			2004
Ryuta Takenaka, Kenji Yokota, Kiyoshi Ayada, Motowo Mizuno, Ying Zhao, Yoshihito Fujinami, Song-Nan Lin, Tatsuya Toyokawa, Hiroyuki Okada, Yasushi Shiratori, and Keiji Oguma	<i>Helicobacter pylori</i> -heat shock protein 60 induces inflammatory responses through the Toll-like receptor-triggered pathway in cultured human gastric epithelial cells	Microbiology			in press
Akiba H, Satoh M, Iwatsuki K, et al.	CpG immunostimulatory sequences enhance contact hypersensitivity responses in mice	J Invest Dermatol	123(3)	488-493	2004
Makino E, Sakaguchi M, Iwatsuki K, Huh NH	Introduction of an N-terminal peptide of S100C/A11 into human cells induces apoptotic cell death	J Mol Med	82(9)	612-620	2004
Hamada T, Fujimoto W, Okazaki F, Asagoe K, Arata J, Iwatsuki K	Lichen planus pemphigoides and multiple keratoacanthomas associated with colon adenocarcinoma	Br J Dermatol	151(1)	252-254	2004
Oono T, Morizane S, Yamasaki O, Shirafuji Y, Huh WK, Akiyama H, Iwatsuki K	Involvement of granulysin-producing T cells in the development of superficial microbial folliculitis	Br J Dermatol	150(5)	904-909	2004
Tanaka R, Ono T, Sato S, Nakada T, Koizumi F, Hasegawa K, Nakagawa K, Okumura H, Yamashita T, Ohtsuka M, Asagoe K, Yamasaki O, Noguchi Y, Iwatsuki K, Nakayama E	Over-expression of the testis-specific gene TSGA10 in cancers and its immunogenicity	Microbiol Immunol	48(4)	339-345	2004
Iwatsuki K, Yamamoto T, Tsuji K, Suzuki D, Fujii K, Matsuura H, Oono T	A spectrum of clinical manifestations caused by host immune responses against Epstein-Barr virus Infections	Acta Med Okayama	58	169-180	2004
Akiyama H, Oono T, Saito M, Iwatsuki K	Assessment of cadexomer iodine against <i>Staphylococcus aureus</i> biofilm in vivo and in vitro using confocal laser scanning microscopy	J Dermatol	31(7)	529-534	2004
Yamasaki O, Kaneko J, Morizane S, Akiyama H, Arata J, Narita S, Chiba J, Kamio Y, Iwatsuki K	The association of <i>Staphylococcus aureus</i> strains carrying Panton-Valentine leukocidin genes with the development of deep-seated follicular infections	Clin Infect Dis			in press
Fujii K, Tsuji K, Matsuura H, Okazaki F, Takahashi S, Iwatsuki K	The effect of formaldehyde gas exposure in a murine allergic contact hypersensitivity model	Immunopharmacology and Immunotoxicology			in press
岩月啓氏	いわゆる「シックハウス症候群」－皮膚症状からみた層別化	皮膚病臨床	26	20-26	2004
岩月啓氏	シックハウス症候群と皮膚症状	アレルギー科	17 (6)	579-583	2004
岩月啓氏	EBV 関連リンパ球増殖症とそれに起因する皮膚疾患	血液・腫瘍科	49	303-310	2004
岩月啓氏	皮膚難病の現況と展望。1)後天性皮膚難病	日本臨床皮膚科医会雑誌	82	348-351	2004
岩月啓氏, 大野貴司	ATLLの皮膚病変	総合臨床	53	2095-2102	2004
藤井一恭, 岩月啓氏	手許に置きたい診断基準とその解説。33. リンパ腫	皮膚科の臨床	46	1620-1626	2004
藤井一恭, 岩月啓氏	かぶれとシックハウス症候群	皮膚アレルギーフロンティア	2(4)		印刷中
Kawakami Y, Oyama N, Kishimoto K, Yamazaki K, Nishibu A, Nakamura K, et al.	A case of generalized pustular psoriasis associated with Turner syndrome	J Dermatol	31(1)	16-20	2004
Furukawa H, Nakamura K, Zheng X, Tojo M, Oyama N, Akiba H, Nishibu A, Kaneko F, Tsunemi Y, Saeki H, Tamaki K	Enhanced TARC production by dust-mite allergens and its modulation by immunosuppressive drugs in PBMCs from patients with atopic dermatitis	J Dermatol Sci	35(1)	35-42	2004
Mitsui H, Watanabe T, Saeki H, Mori K, Fujita H, Tada Y, Asahina A, Nakamura K, et al.	Differential expression and function of Toll-like receptors in Langerhans cells: comparison with splenic dendritic cells	J Invest Dermatol	122(1)	95-102	2004
Wang H, Nakamura K, et al.	Mannose-binding lectin polymorphisms in patients with Behcet's disease	J Dermatol Sci	36(2)	115-117	2004
Furukawa H, Miura T, Takahashi M, Nakamura K, et al.	A case of anti-p200 pemphigoid with autoantibodies against both a novel 200-kDa dermal antigen and the 290-kDa EBA anigen	Dermatology	209(2)	145-148	2004
中村晃一郎, 玉置邦彦	皮膚疾患とケモカイン	BIO Clinica	19(2)	130-135	2004
中村晃一郎	カルシニューリン阻害剤とアレルギー性皮膚疾患	アレルギー科	17	283-289	2004
中村晃一郎	サイトカイン・ケモカインとアトピー性皮膚炎	医学のあゆみ	210 : 1	17-22	2004
中村晃一郎	接触皮膚炎	プライマリケア医が知っておきたい皮膚病診察のコツ 臨床	86	47-50	2004
中村晃一郎	アレルギー相談室Q&A アトピー性皮膚炎におけるカポジ水痘様発疹症について教えてください。	アレルギーの臨床	24 (8)	92	2004

V. 班会議プログラム

厚生労働科学研究（難治性疾患克服研究事業）
ペーチェット病に関する調査研究
平成16年度第1回研究班会議

日時：平成16年7月23日（金）14：00～

平成16年7月24日（土）9：00～

場所：福島県立医科大学第二臨床講義室

7月23日（金曜日）

14：00

主任研究者挨拶

福島県立医科大学医学部皮膚科教授 金子 史男
厚生労働省健康局疾病対策課課長 御挨拶

座長：金子 史男

14：15

特別講演

「ペーチェット病のトレランス誘導治療について」

水島 裕（聖マリアンナ医大 名誉教授）

14：30

「抗菌ペプチドによる活性化細胞の制御を介したペーチェット病発症抑制」

磯貝恵美子、奥村一彦（北海道医療大）、磯貝 浩（札幌医大）、南場研一、大神一浩、大野重昭（北大視覚器病学）、小熊恵二（岡山大病原細菌学）、金子史男（福島県立医大皮膚科）

14：45

「ペーチェット病における抗菌蛋白質 *granulysin* の関与についての研究」

山崎 修、森実 真、大野貴司、岩月啓氏（岡山大皮膚粘膜結合織学）、金子史男（福島県立医大皮膚科）

15：00

「ペーチェット病患者口腔内由来 *Streptococcus-113-20* 株の HSP60, HSP70 のリコンビナント蛋白の発現とその活性の検討」

小熊恵二、林 松男、横田憲治、趙 瑩、綾田 潔（岡山大病原細菌学）、山崎 修、岩月啓氏（同皮膚粘膜結合織学）、磯貝恵美子（北海道医療大口腔衛生学）、金子史男（福島県立医大皮膚科）

座長：小熊 恵二

15：15

「組み換え体レンチウイルスベクターを利用したペーチェット病関連遺伝子の機能解析法の開発」

柳堀浩克、井上智子、中村晃一郎、金子史男（福島県立医大皮膚科）、小林とも子、小林憲太、小林和人（同生体機能）

15 : 30

「ベーチェット病における IL-8 遺伝子多型解析」

中村晃一郎、王 宏偉、井上智子、柳堀浩克、尾山徳孝、金子史男（福島県立医大皮膚科）、西田朋美、水木信久（横浜市大視覚器病態学）

15 : 45

「ベーチェット病 (BD) 末梢血における MICA 反応性 $\gamma\delta$ T 細胞の解析」

安岡秀剛（慶応大内科）、桑名正隆（同先端医科学研究所）、水木信久、西田朋美（横浜市大視覚器病態学）

休憩 16 : 00

座長：石ヶ坪 良明

16 : 15

「腸管ベーチェット病の病態形成における Th1 型免疫反応の役割」

黒川真奈絵、吉川英志、鈴木 登（聖マリアンナ医大免疫学病害動物学）、今村愉子、松田隆秀（同内科）

16 : 30

「ベーチェット病症例における Toll like Receptor 9 (TLR9) 遺伝子変異の検索」

関根英治、坂本夏美、小林浩子、大沼京子、佐藤由紀夫（福島県立医大内科）

16 : 45

「ベーチェット病における HO-1 の発現とその病態への関与」

岳野光洋、岩崎美佳、桐野洋平、武田由希子、石ヶ坪良明（横浜市大病態免疫制御内科）水木信久（同視覚器病態学）

座長：猪子 英俊

17 : 00

「Behcet 病における IL-12p40 プロモーター領域の遺伝子多型解析」

柳堀浩克、井上智子、尾山徳孝、中村晃一郎、金子史男（福島県立医大皮膚科）、西田朋美、水木信久（横浜市大視覚器病態学）

17 : 15

「ゲノムワイドなマイクロサテライトマッピングによるベーチェット病の原因遺伝子の検索」

伊藤良樹、目黒 明、笠井健一郎、伊藤典彦、西田朋美、水木信久（横浜市大視覚器病態学）、勝山義彦、太田正穂（信州大法医学）、竹本裕子、南場研一、大野重昭（北大視覚器病学）、岡 晃、猪子英俊（東海大学分子生命科学遺伝情報部門）

17:30

「ベーチェット病はどのようなルートで日本にもたらされたか」

竹本裕子、南場研一、大野重昭（北大視覚器病学）、水木信久（横浜市大視覚器病態学）成瀬妙子、猪子英俊（東海大分子生命科学遺伝情報部門）

7月24日（土曜日）

座長：大野 重昭

9:00

「ベーチェット病の全国疫学調査及び予後・QOL調査 ―中間報告―」

黒沢美智子、稲葉 裕（順天堂大衛生学）、西部明子、川上佳夫、金子史男（福島県立医大皮膚科）、玉腰暁子（名大予防医学）、川村 孝（京大保健管理センター）

9:15

「ベーチェット病患者の口腔関連 QOL に関する研究」

内籬真理子（名大予防医学）、鈴鴨よしみ、福原俊一（京大医療疫学）

9:30

「ベーチェット病患者のシクロスポリン感受性の検討」

伊藤亜紀子、木村綾子、笠井健一郎、西田朋美、伊藤典彦、水木信久（横浜市大視覚器病態学）、勝山義彦、太田正穂（信州大法医学）、南場研一、大野重昭（北大視覚器病学）

9:45

「樹状細胞における CD40 発現の選択的制御」

小野江和則、飯島則文、柳川芳毅、岩渕和也（北大遺伝子病制御研究所免疫生物）

10:00

「ラットエンドトキシン誘発ぶどう膜炎におけるイチョウハ抽出物の治療効果」

白取謙治、大神一浩、イリアナイリエバ、吉田和彦、大野重昭（北大視覚器病学）、矢澤一良（東京海洋大海洋科学技術研究科）

10:15

「マイクロPET を用いた EAAU 発症ラットのリンパ球追跡」

西堀宗樹、大野重昭（北大視覚器病学）

閉会挨拶 金子 史男

12:30

ベーチェット病友の会勉強会

厚生労働科学研究（難治性疾患克服研究事業）
ベーチェット病に関する調査研究
平成16年度第2回研究会議

日時：平成16年11月26日（金）14：00～

平成16年11月27日（土）9：00～

場所：コラッセふくしま(福島駅西口複合施設)4階中会議室401

11月26日（金曜日）

14：00

主任研究者挨拶

福島県立医科大学医学部皮膚科教授 金子 史男

厚生労働省健康局疾病対策課課長 御挨拶

座長：金子 史男

14：15

「塩基性抗菌蛋白（CAP18/LL37）抗菌ペプチドによるヒト活性化T細胞のアポトーシス誘導」

磯貝恵美子、奥村一彦（北海道医療大）、磯貝 浩（札幌医大）、南場研一、大神一浩、大野重昭（北大視
覚器病学）、小熊恵二（岡山大病原細菌学）、金子史男（福島県立医大皮膚科）

14：30

「ベーチェット病における Granulysin の関与についておよび皮膚粘膜病変部における HSP の発現
について」

森寛 真、林 松男、山崎 修、大野貴司、岩月啓氏（岡山大皮膚粘膜結合織学）、金子史男（福島県立
医大皮膚科）横田憲治、小熊恵二（岡山大病原細菌学）

14：45

「組み換え体レンチウイルスベクターを利用したベーチェット病関連遺伝子の機能解析法の開発」

柳堀浩克、井上智子、中村晃一郎、金子史男（福島県立医大皮膚科）、小林とも子、小林憲太、小林和人
（同生体機能）

15：00

「ベーチェット病の細菌感染における免疫反応と細菌の熱ショック蛋白(HSP)との関係」

横田憲治、林 松男、趙 瑩、綾田 潔、小熊恵二（岡山大病原細菌学）、磯貝恵美子（北海道医療大
口腔衛生学）、山崎 修、岩月啓氏（岡山大皮膚粘膜結合織学）、金子史男（福島県立医大皮膚科）

座長：岳野 光洋

15：15

「ベーチェット病(BD)患者末梢血における細胞傷害性T細胞活性化の経時的解析」

安岡秀剛（慶応大内科）、桑名正隆（同先端医科学研究所）、水木信久、西田朋美（横浜市大視覚器病態学）

15 : 30

「腸管ベーチェット病の病態形成における Th1 型免疫反応の役割」

吉川英志、黒川真奈絵、鈴木 登 (聖マリアンナ医大免疫学病害動物学)、今村愉子、松田隆秀 (同内科)

15 : 45

「神経ベーチェット病脳脊髄液中の熱ショック蛋白(HSP)60 および炎症性サイトカインの解析」

吉川英志、黒川真奈絵、鈴木 登 (聖マリアンナ医大免疫学病害動物学)、野中信宏、池島秀明、松田隆秀 (同内科)

16 : 00

「ベーチェット病患者のシクロスポリン感受性に関する研究」

伊藤亜紀子、木村綾子、笠井健一郎、目黒 明、山根敬浩、西田朋美、伊藤典彦、水木信久 (横浜市大視覚器病態学)、勝山善彦、太田正穂 (信州大法医学)、南場研一、大野重昭 (北大視覚器病学)

16 : 15

「HO-1 発現誘導によるザイモザン惹起性炎症の抑制—ベーチェット病の治療応用を見据えて—」

岳野光洋、武田由希子、石ヶ坪良明 (横浜市大病態免疫制御内科)

休憩 16 : 30

座長 : 猪子 英俊

16 : 45

「ベーチェット病における IL-8 遺伝子多型解析」

橋本真一、柳堀浩克、尾山徳孝、中村晃一郎、金子史男 (福島県立医大皮膚科)、西田朋美、水木信久 (横浜市大視覚器病態学)

17 : 00

「Behcet 病における IL-12p40 プロモーター領域の遺伝子多型解析」

柳堀浩克、井上智子、尾山徳孝、中村晃一郎、金子史男 (福島県立医大皮膚科)、西田朋美、水木信久 (横浜市大視覚器病態学)

17 : 15

「ベーチェット病症例における Toll like receptor 9 (TLR9) 遺伝子変異の検索」

坂本夏美、関根英治、小林浩子、大沼京子、佐藤由紀夫 (福島県立医大第二内科)

17 : 30

「ゲノムワイドなマイクロサテライトマッピングによるベーチェット病の原因遺伝子の検索」

目黒 明、伊藤良樹、笠井健一郎、伊藤亜紀子、伊藤典彦、西田朋美、水木信久 (横浜市大視覚器病態学)、勝山善彦 (信州大薬剤部)、太田正穂 (同法医学)、竹本裕子、南場研一、大野重昭 (北大視覚器病学)、岡 晃、猪子英俊 (東海大学分子生命科学遺伝情報部門)